

ゲンノショウコ

【 *Geranium thunbergii* 】

科 名 フウロソウ科

属 名 フウロソウ属

薬効・用途

茎・葉を止瀉、整腸、健胃薬とする。茶剤として愛用され、便通を整え、腹部膨満感、軟便、便秘に用いられる。古くから用いられてきた著名な民間薬。下痢止めに効く一方、便秘には緩下剤となる作用がある。



・花期：7～10月

備考

多年草。北海道、本州～九州の山野に自生し、朝鮮半島、中国に分布する。江戸時代の始め頃から用いられ、これを服用するとたちまち効き目が現れることから「現之証拠（ゲンノショウコ）」という名がつけられたと言わる。紅紫花は西日本に、白紫花は東日本に多く見られる。両性花。